



平成30年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年1月10日

上場会社名 株式会社GameWith 上場取引所 東
 コード番号 6552 URL https://gamewith.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今泉 卓也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 東 陽亮 TEL 03-5775-5233
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第2四半期の業績（平成29年6月1日～平成29年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第2四半期	1,286	—	624	—	622	—	444	—
29年5月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第2四半期	53.42	48.47
29年5月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 平成30年5月期第2四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しているため、平成29年5月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 平成29年6月30日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、平成30年5月期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から平成30年5月期第2四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
30年5月期第2四半期	2,592	2,152	2,152	1,425	83.0
29年5月期	1,815	1,425	1,425	—	78.5

(参考) 自己資本 30年5月期第2四半期 2,152百万円 29年5月期 1,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年5月期	—	0.00	—	—	—
30年5月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年5月期の業績予想（平成29年6月1日～平成30年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,070	30.9	787	19.9	785	20.0	527	13.3	31.64

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 当社は、平成30年1月10日開催の取締役会において、平成30年2月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の株式分割を決議しております。これに伴い1株当たり当期純利益の予想値は当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年5月期2Q	8,360,000株	29年5月期	8,200,000株
② 期末自己株式数	30年5月期2Q	－株	29年5月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年5月期2Q	8,315,683株	29年5月期2Q	－株

(注) 1. 当社は第2四半期の業績開示を平成30年5月期より行っているため、平成29年5月期第2四半期の期中平均株式数は記載しておりません。

2. 平成29年3月15日開催の取締役会決議により、平成29年4月1日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っておりますが、平成29年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数を記載しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は平成30年1月10日（水）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるものの、景気は緩やかな回復基調が続いており、企業収益や企業の業況判断も改善しています。また、個人消費についても緩やかに持ち直しており、ゲームを楽しむユーザーは引き続き増加傾向にありました。

このような状況の下、当社は「ゲームをより楽しめる世界を創る」を企業理念として掲げ、ゲーム情報メディア「GameWith」において、①ゲームを有利に進めるための情報を提供する「ゲーム攻略」、②ゲームを見つけるための情報を提供する「ゲームレビュー」、③ゲームユーザー同士で交流できる機能を提供する「コミュニティ」、④専属のゲームタレントがYouTube上で行う「動画配信」、という主な4つのコンテンツの提供と充実を図ることに経営資源を投下することで、「GameWith」のメディアの価値を高めてまいりました。

当社の事業は、上記コンテンツをサイトの利用者に提供し、そこに表示される広告枠を販売することにより収益を得ております。当第2四半期累計期間においては、広告媒体のWebサイトを多数集めて形成される「ネットワーク広告」において、前期より取り組んできた広告運用体制の構築により広告単価が改善し、収益性が向上しました。また、特定のゲームタイトルにおいてより多くの情報や動画など付加価値の高い広告枠を制作し当社サイトで提供する「タイアップ広告」においても、主にゲーム会社各社からの需要が高く、受注案件も堅調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,286百万円、営業利益は624百万円、経常利益は622百万円、四半期純利益は444百万円となりました。

なお、当社は「メディア事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は2,592百万円となり、前事業年度末に比べ776百万円増加いたしました。これは主に、売上の増加により現金及び預金が643百万円、売掛金が51百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は440百万円となり、前事業年度末に比べ50百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が38百万円、人員増加に伴い未払費用が19百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は2,152百万円となり、前事業年度末に比べ726百万円増加いたしました。これは主に、公募増資に伴い資本金及び資本準備金がそれぞれ141百万円増加したことや、四半期純利益計上により利益剰余金が444百万円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は83.0%(前事業年度末は78.5%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、法人税等の支払や敷金の差入による支出等の要因により一部相殺されたものの、税引前四半期純利益を622百万円計上したことや、公募増資に伴う株式の発行による収入等により、当第2四半期会計期間末には1,979百万円となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は422百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益を622百万円計上したものの、法人税等の支払が147百万円あったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は60百万円となりました。これは主に、敷金の差入による支出56百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は281百万円となりました。これは、公募増資に伴う株式の発行によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年7月12日の「平成29年5月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,335,131	1,979,072
売掛金	249,481	300,673
商品	1,358	1,104
前払費用	22,872	45,307
繰延税金資産	20,128	26,252
その他	299	1,737
流動資産合計	1,629,273	2,354,148
固定資産		
有形固定資産	53,737	49,753
無形固定資産	97	84
投資その他の資産		
敷金	132,756	188,784
投資その他の資産合計	132,756	188,784
固定資産合計	186,590	238,622
資産合計	1,815,863	2,592,770
負債の部		
流動負債		
未払金	48,309	38,728
未払費用	49,280	68,399
未払法人税等	158,157	196,629
預り金	5,574	8,738
賞与引当金	37,661	49,234
その他	64,622	52,512
流動負債合計	363,606	414,243
固定負債		
資産除去債務	23,388	23,402
繰延税金負債	3,482	2,902
固定負債合計	26,870	26,304
負債合計	390,476	440,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	340,501	481,813
資本剰余金	339,500	480,812
利益剰余金	745,385	1,189,597
株主資本合計	1,425,387	2,152,222
純資産合計	1,425,387	2,152,222
負債純資産合計	1,815,863	2,592,770

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
売上高	1,286,007
売上原価	393,532
売上総利益	892,475
販売費及び一般管理費	267,679
営業利益	624,795
営業外収益	
受取利息	6
その他	4
営業外収益合計	10
営業外費用	
株式交付費	774
株式公開費用	1,000
為替差損	649
営業外費用合計	2,424
経常利益	622,381
税引前四半期純利益	622,381
法人税、住民税及び事業税	184,872
法人税等調整額	△6,702
法人税等合計	178,169
四半期純利益	444,211

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	622,381
減価償却費	10,538
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,572
受取利息	△6
株式交付費	774
売上債権の増減額 (△は増加)	△51,191
その他	△23,975
小計	570,093
利息の受取額	6
法人税等の支払額	△147,642
営業活動によるキャッシュ・フロー	422,456
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△4,336
敷金の差入による支出	△56,028
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,364
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	281,849
財務活動によるキャッシュ・フロー	281,849
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	643,941
現金及び現金同等物の期首残高	1,335,131
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,979,072

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月30日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、平成29年6月29日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式発行50,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ44,160千円増加しております。また、平成29年8月1日を払込期日とする有償第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による新株式発行110,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ97,152千円増加しております。

この結果、当第2四半期会計期間末において、資本金は481,813千円、資本剰余金は480,812千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、メディア事業の単一セグメントであるため、開示を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び定款の一部変更)

平成30年1月10日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議しております。

1. 株式分割の目的

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成30年1月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主が所有する普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	8,360,000株
今回の分割により増加する株式数	8,360,000株
株式分割後の発行済株式総数	16,720,000株
株式分割後の発行可能株式総数	65,600,000株

(3) 分割の日程

基準日公告日	平成30年1月11日
基準日	平成30年1月31日
効力発生日	平成30年2月1日

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における1株当たり情報は、以下のとおりであります。

項目	当第2四半期累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	26円71銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	24円24銭

3. 株式分割に伴う定款の一部変更

(1) 変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、平成30年2月1日をもって当社の定款第6条の発行可能株式総数を変更するものであります。

(2) 定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。

(下線は変更箇所を示しております)

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>32,800,000株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>65,600,000株</u> とする。

(3) 定款変更の日程

効力発生日 平成30年2月1日

4. その他

(1) 資本金の額の変更

上記の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

(2) 新株予約権行使価額の調整

平成30年2月1日以降に行使する新株予約権の行使価額を以下のとおり調整いたします。

新株予約権の名称	調整前行使価額	調整後行使価額
第1回新株予約権	10円	5円
第2回新株予約権	163円	82円
第3回新株予約権	163円	82円
第4回新株予約権	320円	160円
第5回新株予約権	320円	160円
第6回新株予約権	320円	160円